

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
医療的ケア児等の支援 ※	◇医療的ケア児等ネットワーク部会にて情報共有・意見交換会	P. 44	5月31日開催 参加者 17名 各機関の情報共有を行うことができた。 保育園・小学校で受け入れをしているケースについてや、学校への訪問看護についての話し合いなどを行った。	関係機関から現在の支援状況や、これからの取り組みが聞け、今後も情報共有していくことで、医療的ケア児への支援に繋げていく。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	
	◇支援者による意見交換会		6月27日開催 参加者 12名 支援者同士の情報交換や、意見交換などを行った。	事業所の困りごとや支援について情報共有することによって、対応の参考になった。関係機関の顔合わせ(関係づくり)ができた。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	もっと多くの機関と情報共有ができるとよいという意見があり、開催案内を早めに行い、より多くの関係者と意見交換できる場を設けていく。
	◇なかよし訪問 医療的ケア児等の訪問面談 個別ニーズ調査		4月～9月 4名 医療的ケア児等コーディネーターと保健センターで自宅や病院への訪問面談を行った。	小牧市で新規医療的ケア児等の把握の仕方の流れができてきた。 従来の医療的ケア児の把握の仕方を検討していく必要がある。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇継続ケースの把握、共有	P. 44	医療的ケア児等ネットワーク部会で、継続ケースの状況の共有を行った。	保育園での具体的な様子を共有することができた。当該児童の保育園の園長に医療的ケア児等ネットワーク部会に出席していただき、実際の状況を確認していく。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	一人の医療的ケア児の経過と現状を定期的に確認することで、次の医療的ケア児への支援に活かす。
	◇医療的ケア児等コーディネーターの周知		医療的ケア児等コーディネーターと保健センターで自宅や病院への訪問面談を行った。	相談先の周知ができてきている。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	新規の医療的ケア児等には、今後も周知が必要。
	◇医療的ケア児に関する冊子作成 ・「はじめのいっぽ in komaki 制作委員会」 (3月完成予定)		はじめのいっぽ in komaki 制作委員会 ①6月22日開催 参加者 13名 ②9月8日開催 参加者 13名 ③12月1日開催予定	医療的ケアに関する掲載内容の検討を行った。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変える (変更) という意味で変更